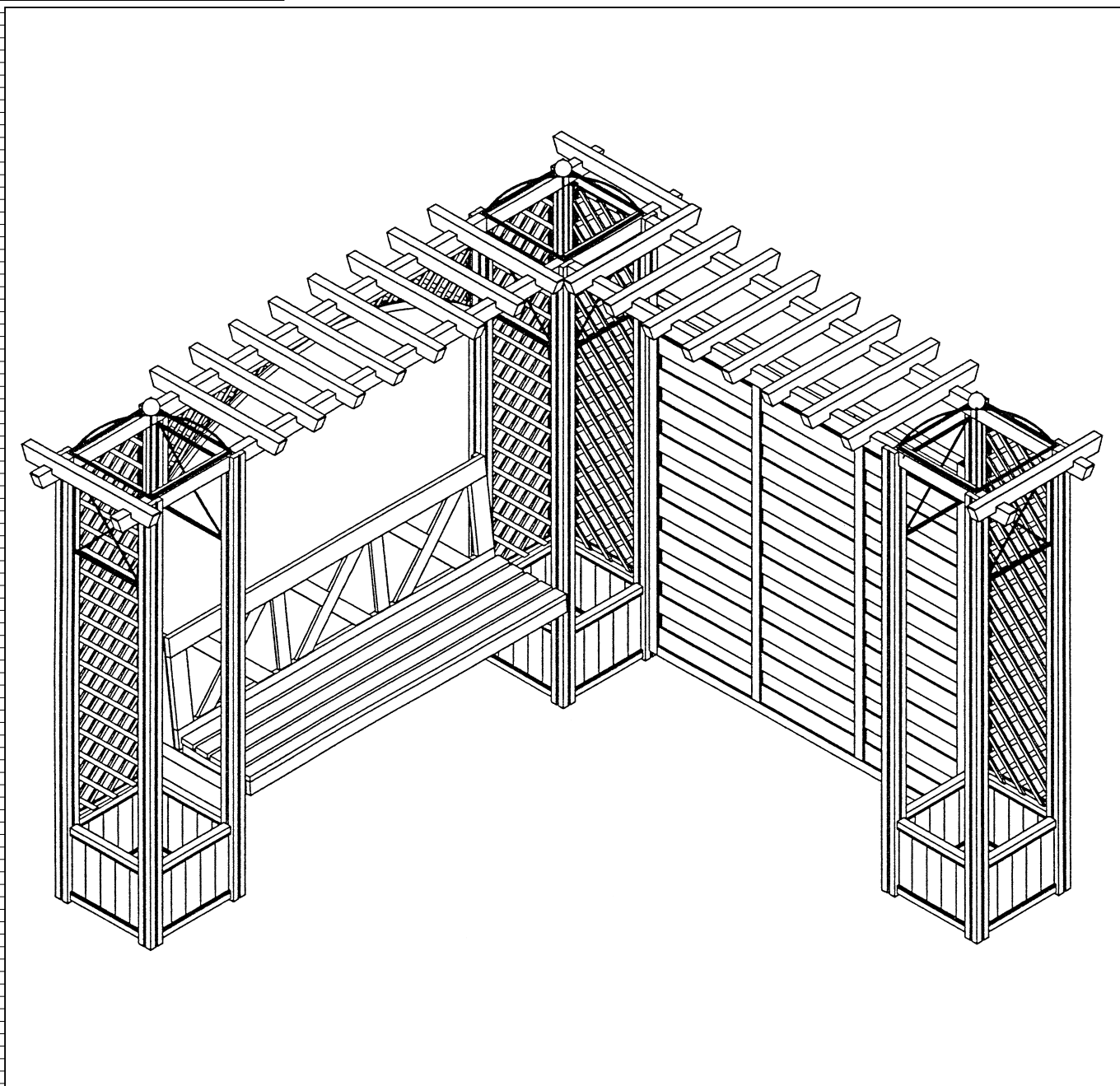


パーゴラ・アクセサリー 施工手順説明書



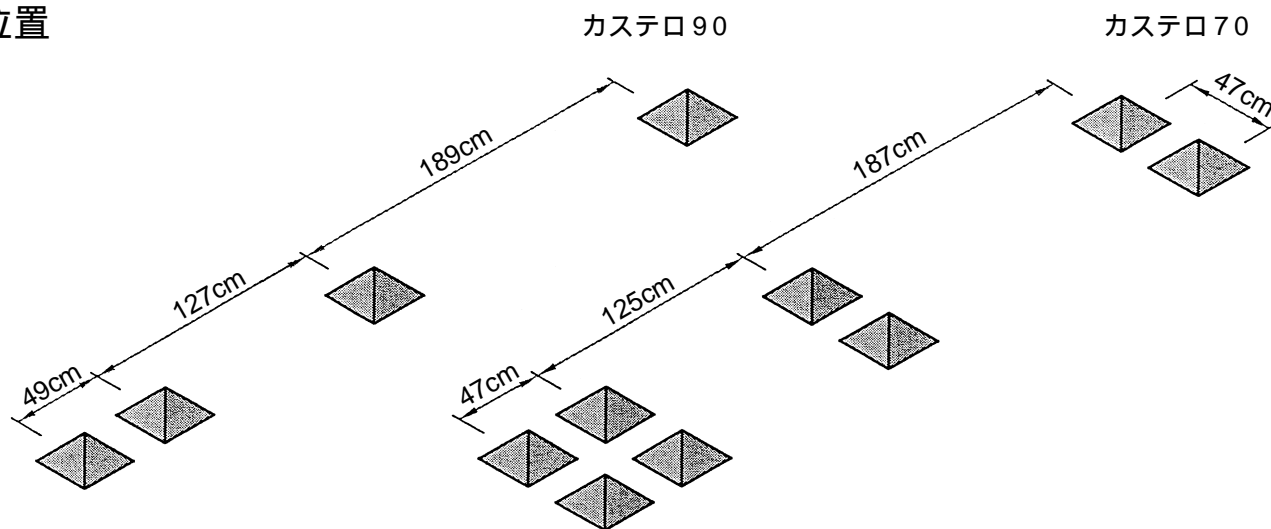
2002年9月


OSMO/GARD
日本オスモ株式会社

本 社 〒673-1111 兵庫県美のう郡吉川町上荒川748-6
TEL(0794)72-2001 FAX(0794)72-2000
関東営業所 〒338-0832 埼玉県さいたま市西堀1-17-8-101
TEL(048)845-7590 FAX(048)845-7589
E-mail : info@nihon-osmo.co.jp

パーゴラの施工

柱位置



柱の施工

カステロ 70 および 90 の施工には長さ 218cm および 220cm の柱を使用します。施工の際には柱用 L アンカー、H 型アンカーを用いて基礎に固定します。

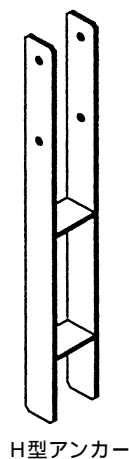
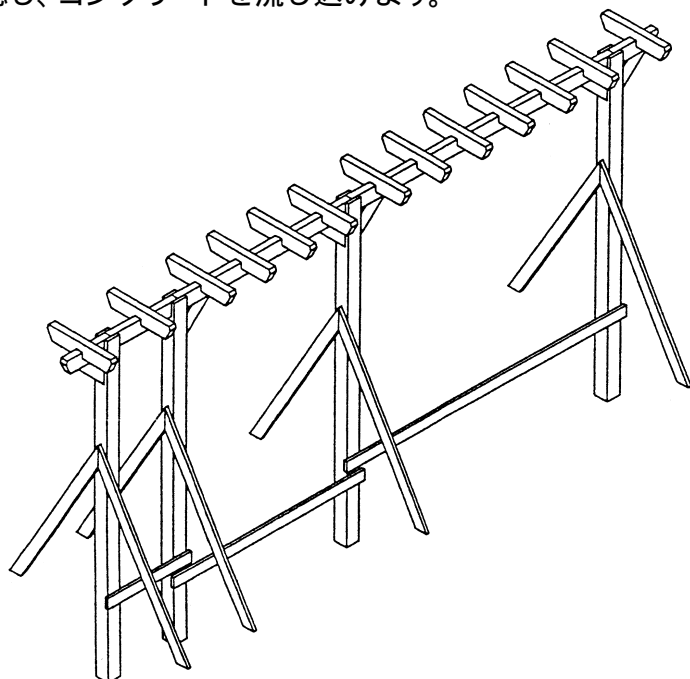
さらにシステムを拡張していく場合は 180、118、40 のそれぞれのモジュールの組み合わせで、上図の通り柱の間隔をとって施工していきます。L 型アンカーはコンクリート面に使用します。

H 型アンカーの施工は次のとおりです。

最初に定めた柱位置にコンクリート基礎用の穴(300mm 角、深さ 800mm)を掘ります。

そしてそれぞれ柱にアンカーをボルト & ナットで固定します。柱のほぞに梁をのせ、ビス止めします。梁は柱の中心にくるように留めます。この際、ビスは腐敗防止のため、ステンレス製のものを下穴をあけてから使用します。

ここで端材を用いて仮組みし、基礎用の穴に差し込みます。最後に水平器などを用いて柱の水平、垂直を確認し、コンクリートを流し込みます。



H型アンカー

パーゴラの施工

エンドピースと方杖

パーゴラの両端には、梁と同様にエンドピースをビスで接合します。カステロ90の場合、さらに強く固定するために、方杖を柱とエンドピースにビスで接合します。

忍び飾りは梁の上に等間隔になるようにビス（5 × 60mm程度）で留めます。梁を柱に載せる前に忍び飾りを取り付けておけば施工が簡単になります。

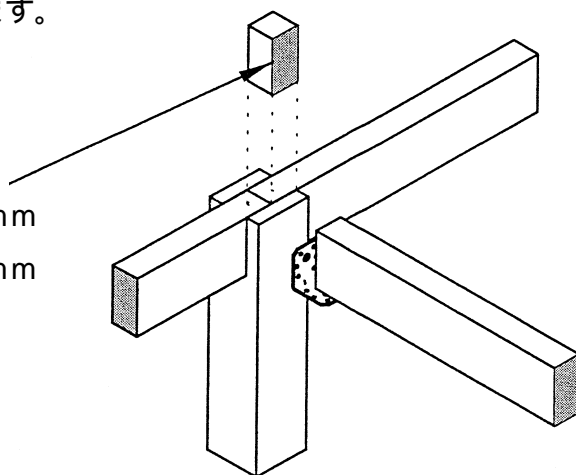
施工の特徴

パーゴラの設計に90度のコーナーがあれば、施工の際に以下のことに御注意ください。

：基本的には梁が柱の中心から中心にかかるように取り付けてください。しかし下図のような場合、一本はほぞに、もう一方は柱のサイドにL金具で取り付けるようになります。

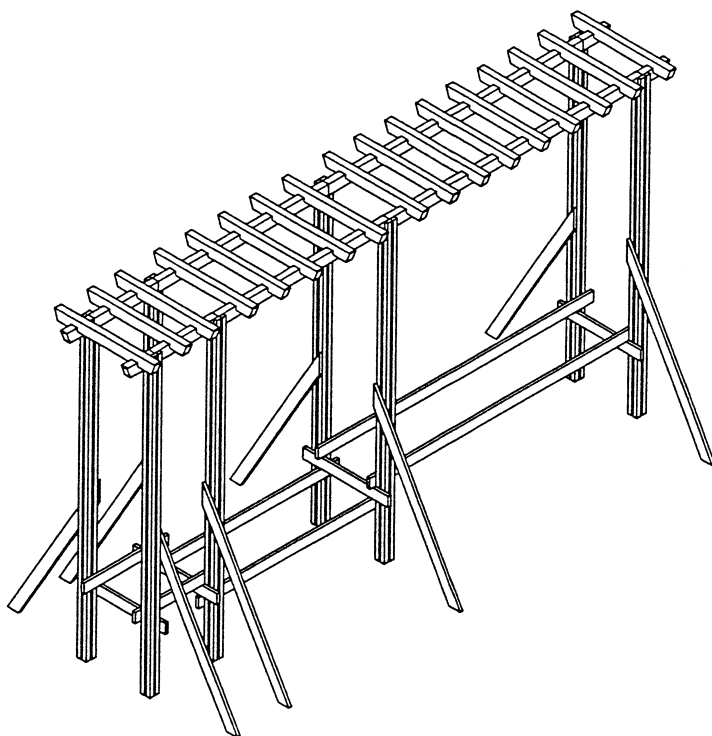
このとき梁は柱の半分の寸法（90角の柱の場合45mm、70角の場合35mm）だけカットします。これによってモジュール通りの施工が可能になります。

カットする部分 カステロ90...45mm
 カステロ70...35mm



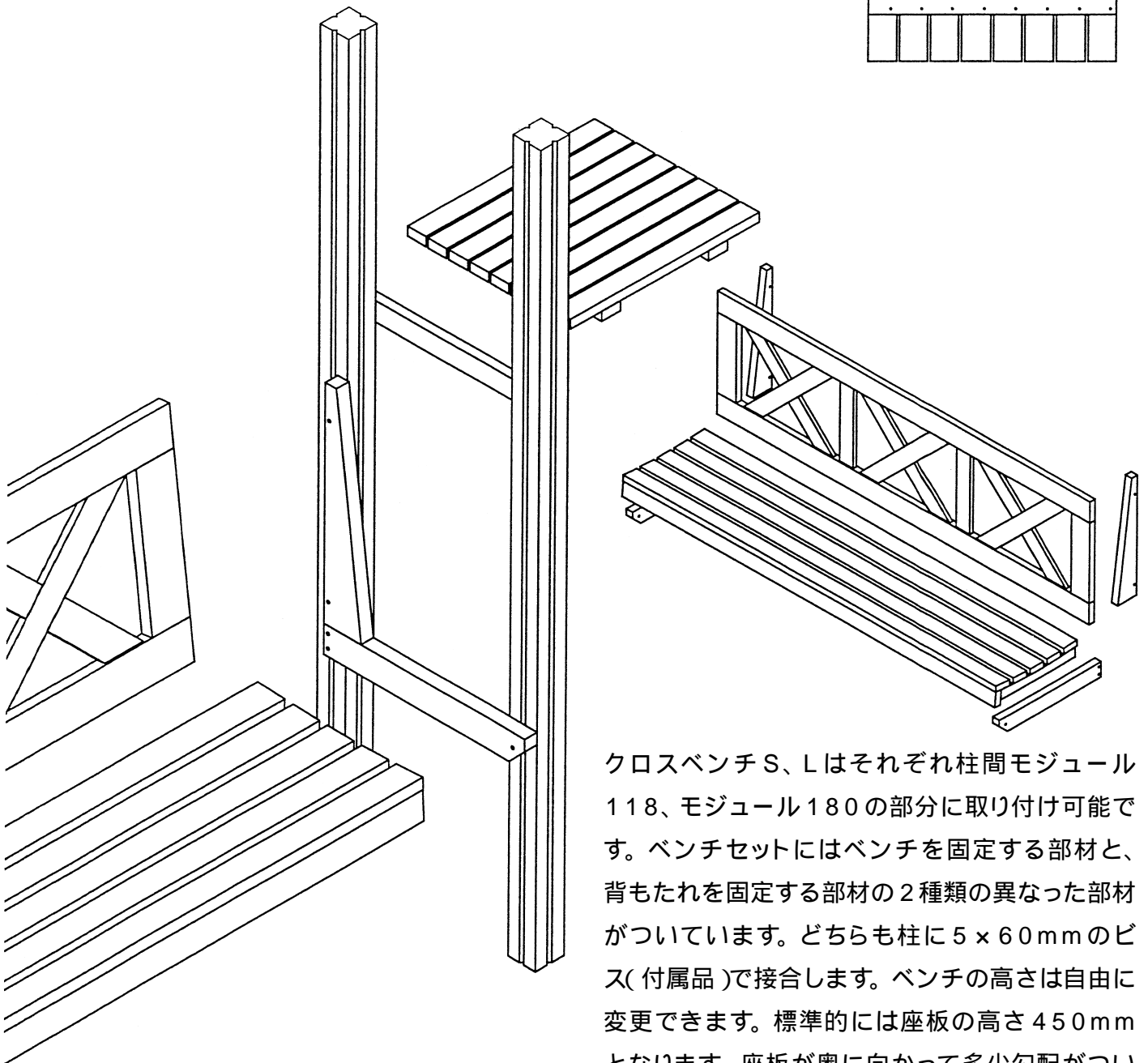
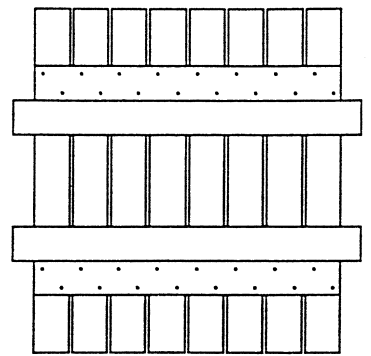
たとえばカステロ70のような二列の形状のパーゴラを施工する際も方法は前述の通りです。柱間の寸法を確認し、梁、忍び飾りを取り付け、補強、固定します。

フラワーボックスを取り付ける場合は、最初に取り付けます。最後に柱の水平・垂直を確認の上、端材を用いて仮組みし、コンクリートを流し込み固定します。



ベンチと飾り棚

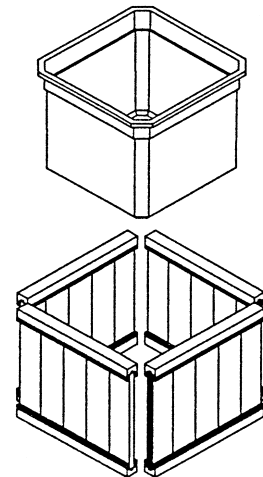
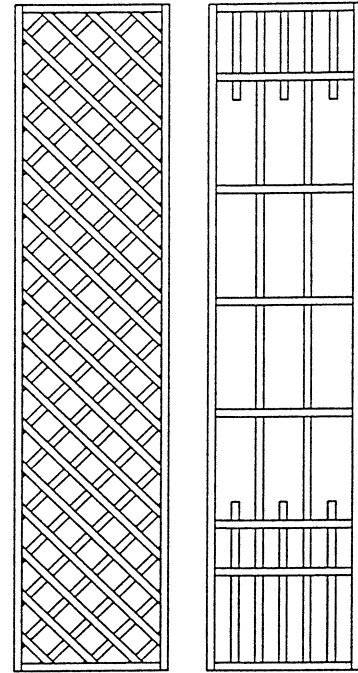
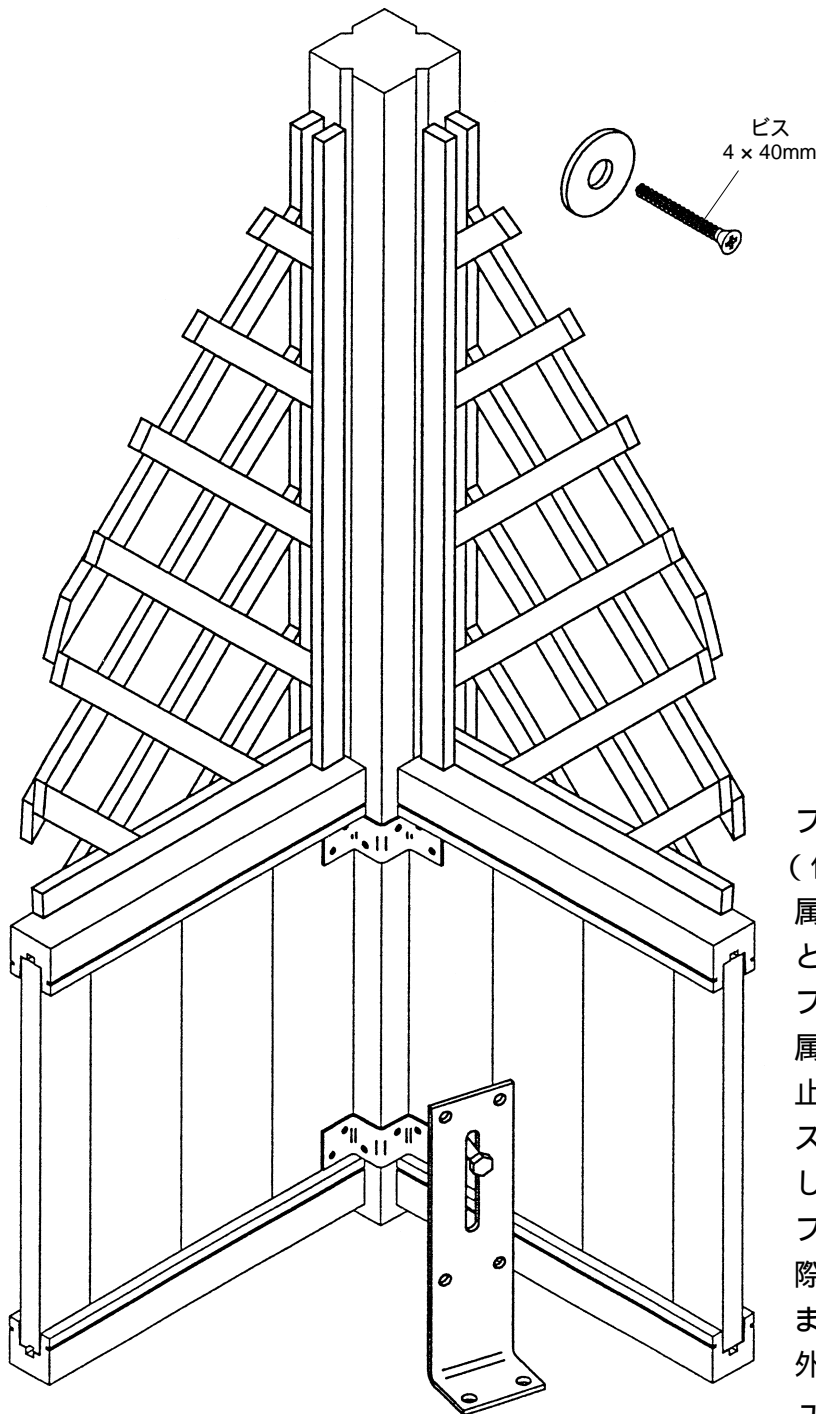
カステロ用飾り棚は、柱間がモジュール40の部分に取り付け可能です。棚の下方には取り付け用棧木が固定されています。この棧木を適切な高さになるように両サイドに固定します。(図参照)



クロスベンチS、Lはそれぞれ柱間モジュール118、モジュール180の部分に取り付け可能です。ベンチセットにはベンチを固定する部材と、背もたれを固定する部材の2種類の異なった部材がついています。どちらも柱に5×60mmのビス(付属品)で接合します。ベンチの高さは自由に変更できます。標準的には座板の高さ450mmとなります。座板が奥に向かって多少勾配がついているほうが座り心地がよくなります。背もたれの後ろにラチスフェンス等を施工するときは、柱に45mmの接合部分が取れるようにベンチの位置を前にずらします。

飾り格子とフラワーボックス

飾り格子は柱間がモジュール40の部分に取り付けが可能です。それぞれ柱に対して3箇所、4×40mmのビスとワッシャーを使用して図のように固定します。



フラワーボックスは1個につき金具8個（付属品）を使用して図のようにビス（付属品）止めします。その際地面から少なくとも5mm間隔を取ります。

プラスチック製のプランターボックス（付属品）はその中にはめ込みます（柱にビス止めすることも可能）。プランターボックスは排水のために底面に穴をあけるようにしてください。

フラワーボックスをパーゴラに取り付ける際に、H型アンカーを使用することはできません。その代わりにL型アンカーを柱の外部、もしくは内側対角線上に六角スクリューを使用して固定します。

メタルアクセサリーとデザインラチス

ステンレス製のメタルアクセサリーカポラ、クロスはモジュール40の部分に後から取り付け可能です。これらはビス(4×40mm程度)で柱、梁に接合していきます。

デザインラチスS、Lはそれぞれモジュール118、180の部分に取り付け可能です。取り付けの際に柱間の内寸に各側3mm程度の隙間があることを確認してください。次に柱にL金具を取り付けます。(図B参照)その後上部をビス(4×40mm程度)2本で梁と接合し、L金具に対してもビスで固定します。(図C参照)

